

はじめに「ご記入者」、「電話番号」欄をご記入ください。

ご記入者 部課名	役職	ご芳名	電話番号
----------	----	-----	------

※名称に支社・支店名が記載されている場合は、当該支社・支店に限定してお答えください。

設問1 貴事業所の売上、収益等の状況について、おたずねします。

■それぞれ、該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

今期(令和8年1月～3月期)の実績 ← 前年同期(令和7年1月～3月期)と比べて。

来期(令和8年4月～6月期)の見通し ← 前年同期(令和7年4月～6月期)と比べて。

設問1-1 <売上高>

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問1-2 <販売数量>

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問1-3 <経常利益>

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問2 貴事業所の製品単価、原材料価格の状況について、おたずねします。

■それぞれ、該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

今期(令和8年1月～3月期)の実績 ← 前期(令和7年10月～12月期)と比べて。

来期(令和8年4月～6月期)の見通し ← 今期(令和8年1月～3月期)と比べて。

設問2-1 <製(商)品単価> ※製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

設問2-2 <原材料(仕入)価格> ※原材料を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

設問3 貴事業所の今期の在庫、労働力、設備、資金繰りの状況について、おたずねします。

■それぞれ、該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

今期(令和8年1月～3月期)の状況

設問3-1 <製(商)品在庫> ※製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3-2 <労働力> ※パートタイム、アルバイト等の非正規雇用従業員を含みます。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3-3 <生産・営業用設備>

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3-4 <資金繰り>

今期の状況	1. 楽である	2. やや楽である	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-------	---------	-----------	-------	----------	--------

設問 4 金融機関の貸出の対応について、おたずねします。

今期(令和8年1月～3月期)における対応状況

設問 4-1 <金融機関の対応>

■該当する番号を1つ選び、○をつけてください。※金融機関から融資等を受けていない場合は未記入で結構です。

1. 緩い	2. さほど厳しくない	3. 厳しい
-------	-------------	--------

<「3. 厳しい」とお答えの方へ>該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 融資を申し込んだが断られた	2. 融資を申し込んだが減額された
3. 返済猶予等を断られた	4. その他()

設問 5 貴事業所の今後の従業員数、設備投資の予定について、おたずねします。

来期(令和8年4月～6月期)以降の予定

■来期以降の予定について、それぞれ該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

設問 5-1 <正規従業員数>

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

設問 5-2 <非正規従業員数> ※季節的な要因を除いてご回答ください。

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

設問 5-3 <生産・営業用設備>

今後の予定	1. 増強する	2. 変化させない	3. 縮小する
-------	---------	-----------	---------

設問 6 貴事業所の業況について、おたずねします。

今期(令和8年1月～3月期)の実績

設問 6-1 <今期の事業所の業況(業況の良し悪し)>

■該当する番号を1つ選び、○をつけてください(季節的な要因を除いてご回答ください)。

今期の実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
-------	-------	-------	-------

「設問 6-1」をお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

理由	例)天候不良、円安、石油価格の高騰、外国人観光客の増加、お祭り客の増加

来期(令和8年4月～6月期)の見通し

設問 6-2 <来期の事業所の業況(業況の良し悪し)>

■該当する番号を1つ選び、○をつけてください(季節的な要因を除いてご回答ください)。

来期の見通し	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
--------	-------	-------	-------

「設問 6-2」をお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

理由	例)天候不良、円安、石油価格の高騰、外国人観光客の増加、お祭り客の増加

設問 7 貴事業所の業況の変化について、おたずねします。

今期(令和8年1月～3月期)の実績 ← 前年同期(令和7年1月～3月期)と比べて。

設問 7-1 <事業所の業況(業況の変化)>

■該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

今期の実績	1. 好転した	2. 変化なし	3. 悪化した
-------	---------	---------	---------

設問 8 貴事業所の経営上の課題について、おたずねします。

今期(令和8年1月～3月期)における課題

設問 8-1 <経営上の課題>

■該当する番号を上位3つまで選び、重要度の高い課題順にその番号をご記入ください。

第1位	
第2位	
第3位	

- ①. 合理化・省力化不足 ②. 設備・店舗等の老朽化又は狭さ ③. 原材料・仕入製(商)品高
- ④. 設備過剰 ⑤. 売上・受注の停滞、不振 ⑥. 資金繰り・金融難
- ⑦. 求人・人材難 ⑧. 人件費高騰 ⑨. 在庫過大
- ⑩. 販売価格の値下げ ⑪. 競争の激化 ⑫. 生産・販売能力の不足
- ⑬. 諸経費の増加 ⑭. 立地条件の悪化 ⑮. その他 ()
- ⑯. 特になし

設問 9 貴事業所の今期(令和8年1月～3月期)の業況に対応して、具体的な処置を行ったものがありましたらご記入ください。

■記入例：業況の好転による採用拡大、新規設備投資、IT・ロボットの導入による効率化

ここからは特別設問です。

●多様な人材の活躍について

企業を取り巻く環境が急速に変化する中、多様な人材の能力や特性を最大限に活かすこと、すなわち「ダイバーシティ経営」に注目が集まっています。ダイバーシティ経営は、人材の多様性を高めること自体が目的ではなく、経営戦略を実現する上で不可欠な多様な人材を確保し、組織風土や働き方の仕組みを整備することを通じて、生産性・創造性の向上や人手不足の解消等、企業価値を向上させることが目的とされています。

貴事業所における多様な人材の活躍についておうかがいします。

※なお、ここでの「多様な人材」とは、性別、年齢、国籍、障害の有無、ライフスタイル(育児・介護等)などを指します。

特別設問 1 貴事業所において多様な人材の活躍に関する取り組み姿勢は次のうちどれですか。(1つに○)

※ご回答にあたっては、以下の要素をどの程度満たしているかを基準にご判断ください。

- 経営方針やビジョン(中長期計画策定・採用強化等)
- ハード面(バリアフリー・多言語化対応、マニュアル整備やデジタル化等)
- 制度面(柔軟な働き方の実施、給与体系や評価制度の見直し、教育訓練制度の強化)
- 心理面(マネジメント研修、理解促進のための取り組み)

- | | |
|---|--------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 非常に積極的である 2. やや積極的である 3. どちらかと言えば積極的である | } → 特別設問2、3へ |
| <ul style="list-style-type: none"> 4. どちらかと言えば積極的ではない 5. あまり積極的ではない 6. 全く積極的ではない | } → 特別設問4へ |

特別設問 2 特別設問1で「1」～「3」を選択された事業所にうかがいます。多様な人材の活躍に積極的に取り組む理由について、当てはまるものを選択してください。（複数回答可）

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 新たな発想により、サービスの開発・改良に生かすため | 6. 企業の社会的責任を果たすため |
| 2. 業務効率化を図るため | 7. 企業文化・組織風土を変革するため |
| 3. 優秀な人材を確保するため | 8. その他 |
| 4. 人手不足により取り組まざるを得ないため | () |
| 5. 働きがい・働きやすさを高めることで、社員のモチベーションを向上できるため | 9. 決まった目的はない |

特別設問 3 特別設問1で「1」～「3」を選択された事業所にうかがいます。多様な人材の活躍に向けた取り組みと進捗状況について教えてください。①～④までの取組内容について、当てはまるものにそれぞれ○をつけてください。

取組内容	取り組んでいる場合			取り組んでいない場合	
	十分に取り組んでいる・成果が出ている	取り組んでいる	一部取り組んでいる	検討中・これから取り組む予定	取り組む予定はない
①方針・ビジョン (中長期計画策定・採用強化等)					
②ハード面 (バリアフリー・多言語化対応、マニュアル整備やデジタル化等)					
③制度面 (柔軟な働き方の実施、給与体系や評価制度の見直し、教育訓練制度の強化)					
④心理面 (マネジメント研修、理解促進のための取り組み)					

特別設問 4 特別設問1で「4」～「6」を選択された事業所にうかがいます。多様な人材の活躍に積極的でない理由について、最も当てはまるものを選択してください。（1つに○）

1. 必要性を感じないため
2. 必要性は感じるが、どのように進めればよいかわからないため
3. 必要性は感じるが、多様な人材の活躍よりも優先したい経営課題があるため
4. かつて積極的に進めた時期もあったが、うまくいかなかったため
5. その他()

次ページの設問へお進みください。➡

●海外販路開拓について

仙台市と仙台商工会議所では、将来的な人口減少に伴う市場の縮小も見込まれる中、原油高・物価高の影響による企業収益の減少への対応や、地域の「稼ぐ力」の強化策の一つとして、海外販路開拓を支援しています。貴事業所における海外販路開拓の取り組み状況等について、次の設問にお答えください。

特別設問
5

貴事業所では現在、海外販路開拓に取り組んでいますか。（1つに○）

- 1. 取り組んでいる ➡ 特別設問6～10へ
- 2. 取り組んでいないが、関心はある ➡ 特別設問6、10へ
- 3. 取り組んでおらず、今後も予定はない ➡ 特別設問11へ
- 4. 本社・本部管轄のため、支社・営業所単位ではわからない

特別設問
6

特別設問5で「1」～「2」を選択された事業所にうかがいます。海外販路開拓の進捗状況として最も近いものはどれですか。（1つに○）

- 1. 情報収集・検討段階（市場調査、社内検討など）
- 2. 準備段階（商品/体制整備、翻訳、規制・認証確認など）
- 3. 実行段階（商談・出展・越境EC運用など実施中）
- 4. 成果段階（継続取引・リピート受注がある）

特別設問
7

特別設問5で「1」を選択された事業所にうかがいます。貴事業所が取り組んでいる海外販路開拓先の国・地域を教えてください。（複数選択可）

- 1. 中国
- 2. 香港
- 3. 台湾
- 4. 韓国
- 5. アメリカ
- 6. タイ
- 7. ASEAN(タイ以外)
- 8. EU
- 9. その他()

※ASEAN加盟国は、インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの全10か国。

特別設問
8

特別設問5で「1」を選択された事業所にうかがいます。貴事業所における海外販路における収益状況及び今後の意向について教えてください。（1つに○）

- 1. 利益が出ており、今後積極的に拡大していきたい
- 2. 利益が出ており、今後現状の規模を維持していきたい
- 3. 利益が出ていないが、今後積極的に拡大していきたい
- 4. 利益が出ていないが、今後現状の規模を維持していきたい
- 5. 利益が出ていないため、今後縮小せざるを得ない
- 6. その他()

特別設問
9

特別設問5で「1」を選択された事業所にうかがいます。海外への販売や販路の構築において、課題に感じておられることを教えてください。（自由記述）

特別設問
10

特別設問5で「1」～「2」を選択された事業所にうかがいます。
海外販路開拓に取り組んでいるまたは関心がある理由を教えてください。（複数選択可）

1. 売上・顧客を増やし、事業成長につなげるため
2. 国内市場の縮小(人口減少・需要減等)に備えるため
3. 国内での収益性低下に備えるため(価格競争の激化、原材料・人件費高騰等)
4. 海外の方が高い価格で販売できる／利益率を改善できるため
5. 為替要因(円安等)により収益機会があるため
6. 販路・取引先を分散し、リスクを低減するため(災害、特定顧客依存等)
7. 将来の海外拠点化・現地展開(生産/販売/提携)を見据えているため
8. 取引先・商社・バイヤー等から要請があったため
9. 行政・支援機関の支援(補助金、専門家支援等)が利用できるため
10. その他()

特別設問
11

特別設問5で「3」を選択された事業所にうかがいます。
海外販路開拓に「今後も予定がない」理由として、当てはまるものを選んでください。
(複数選択可)

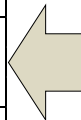
1. 国内市場(国内取引)で十分な売上・利益が確保できているため
2. 自社の商品・サービスが海外ニーズに合わないと思うため(適合性に不安)
3. 品質・規格・表示・認証等の要件対応が難しいため(国際認証、規制、言語表示など)
4. 貿易実務・契約・決済・物流等の手続き対応が難しいため
5. 海外の販売先開拓(バイヤー探索、販路選定、契約交渉等)の進め方が分からないため
6. 海外市場に関する情報が不足しているため(市場規模、競合、価格、需要など)
7. 人材・体制が不足しているため(担当者不在、語学、営業、貿易実務など)
8. 資金面の余裕がないため(出展費、渡航費、翻訳、サンプル、広告等)
9. コミュニケーション面に不安があるため(言語・商習慣・信頼関係構築等)
10. リスクが高いと感じるため(代金回収、クレーム、知財、政治・為替等)
11. その他()

全員におうかがいします。

特別設問
12

海外販路開拓に関して、今後期待する公的支援策を、重要だと思う順に上位3位までを選び、その番号をご記入ください。

第1位	
第2位	
第3位	



1. 費用支援(補助金・助成金:出展費、渡航費、翻訳、広告、サンプル等)
2. 専門人材の確保・活用支援(人材紹介、外部専門家派遣、伴走支援等)
3. 海外展開の戦略・計画策定支援(事業計画、ターゲット国選定、価格戦略等)
4. 海外市場・ニーズ調査支援(現地調査、競合分析、テスト販売結果の分析等)
5. 海外バイヤー・現地企業との商談支援(マッチング、商談設定、通訳等)
6. 展示会・見本市の出展支援(出展手続き、ブース設計、事前/事後フォロー等)
7. 越境EC・デジタル販路の立上げ支援(出店、運用、広告、物流/決済整備等)
8. 貿易実務・規制対応支援(輸出入手続き、契約、決済、物流、認証・表示等)
9. 海外市場情報の提供(国別制度、商習慣、統計、業界動向等)
10. その他()
11. 特になし

※当てはまるものがない場合は「特になし」を選択してください。

次ページの設問へお進みください。➡

● AI活用について

近年、業務の効率化や生産性向上、新たな付加価値の創出などを目的に、AI（人工知能）の活用が広がっています。例えば、文章や資料の作成支援、売上予測やデータ分析、問い合わせ対応の自動化、画像認識による検品など、業種を問わずさまざまな業務で活用が進んでいます。
 貴事業所におけるAIの利活用状況についてうかがいます。

※なお、本調査におけるAIとは、文章や資料の作成、売上予測やデータ分析、画像認識による検品や自動応答など幅広く対象としております。

特別設問 13 現在のAIの利活用状況に最も近いものをお答えください。（1つに○）

- 1. 全社的に活用している
 - 2. 一部部署・担当で活用している
 - 3. 活用を検討しているが、具体的な導入には至っていない
 - 4. 活用していない
- } → 特別設問14、15へ
- 特別設問14へ

特別設問 14 特別設問13で「1」～「3」を選択した事業所にうかがいます。AIを活用している（または検討している）業務分野をすべて選んでください。（複数回答可）

- 1. 顧客対応・営業・マーケティング（提案書作成、チャット対応等）
- 2. 商品・サービスの企画・開発
- 3. 生産・提供プロセス（製造・施工・運営等）
- 4. 管理部門（経理・人事・総務等）
- 5. 経営判断・データ分析
- 6. その他（ ）

特別設問 15 特別設問13で「1」～「2」を選択した事業所にうかがいます。AI活用による効果について当てはまるものをお答えください。（1つに○）

- 1. 投入費用を上回る十分な効果が出ている
 - 2. 投入費用に見合う一定の効果は出ている
 - 3. 効果は出ているが、費用に見合うほどではない
 - 4. まだ効果を検証できる段階ではない
 - 5. 効果を感じていない
- } → 特別設問16へ

特別設問 16 特別設問15で「1」～「3」を選択した事業所にうかがいます。具体的にどのような業務でどのような効果がありましたか。（自由記述）

全員におうかがいします。

特別設問 17 今後のAIの利活用方針について最も近いものをお答えください。（1つに○）

- 1. 活用を拡大する
- 2. 現状維持
- 3. 縮小・見直しを検討する
- 4. 未定
- 5. 活用しない

● 仙台市企業経営動向調査の回答方法についてお尋ねします。

事業者の皆様の負担を軽減し効率的に集計を行うため、WEB回答を推奨しております。次回以降、WEB回答を希望しますか。（1つに○）
 ※希望する場合には、次回以降、WEB回答フォームURL（二次元コード）、ログイン用IDとパスワードを記載した調査依頼状を送付いたします。

- 1. 希望する
- 2. 希望しない

最後に、本市の産業政策に関するご意見・ご要望、取り上げてほしい話題等がございましたら、以下にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力、誠にありがとうございました。